

第34代北海道議会議長

富原 亮氏

# 「主張<sup>だけ</sup>で終わらせない」 実りある議論の場 構築で北海道に活力

戦後3番目の若さとなる50歳での道議会議長就任となった。「若さを活かして走り回りたい」と豊富な運動量を持ち味に道内の課題に向き合う一方、「ただの主張で終わってしまったら意味がない」と、議会を一層「実りある議論の場」に再構築する構え。取材後もすぐに「現場」に向かう姿勢が印象的だった。

（取材・6月26日、道議会議長室）

## 全議員で直面する課題に全力

—— 議会を運営するにあたり、基本的な考え、スタンスは。

根幹にあるのは道民の方々に「北海道議会を身近に感じていただく」、このために汗を流すということですね。

そのためにも各会派を

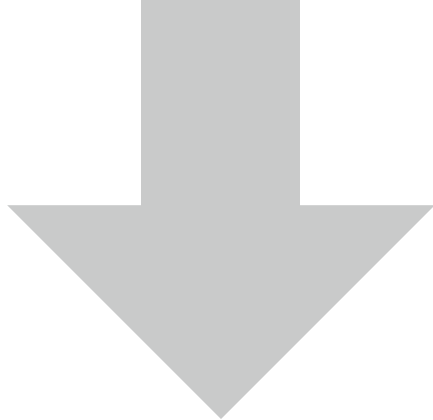
はじめ、さまざまな組織との調整、調和を図り、円滑に「実りある議論」というものを意識しながら議会の舵を取らなければなりません。

—— 50歳での議長選出と

北海道議会議長  
富原 亮

（とみはら あきら）1973年生まれ、50歳。函館市出身。道立七飯高等学校卒。2003年七飯町議会議員初当選。1期務めた後、07年の道議会議員選挙で初当選。現在5期目。議会運営委員長、水産林務委員長を歴任。今年5月に議長就任。





続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)